

【夢を叶える、Iさんの創造と人生の歩み】

東京にお住まいのIさんが「大きな人生の転機」に感じていたとき、より良い選択をできるようにフラワーエッセンス療法を開始されました。

Iさんは23年間、高校の教師をなさっています。初めてお見えになったのは学校が3学期に入った頃です。

健康の面からは睡眠時間が足りていないようで、仕事が忙しすぎていつも疲れていました。不満があり楽しいと感じないこと、我慢して仕事しているお立場を抱えています。それは職場で孤立しているのではないかと、理解されていないと感じているところからの感覚であったりします。ご自身を生かして幸せになりたいというIさん。人生を輝くものに変容して欲しいと心から共感しました。

今の仕事は自分には合っていないと考えていて、仕事を辞めるか辞めないか10年悩んでいるとおっしゃっていました。教師をしながら、通信制の大学にも通い文芸を学んでいらっしゃるIさんの思いには強い情熱があります。『文筆家になりたい』という思いに対し、今の安定した職場を手放すことへの不安や恐れ、独立する恐れに癒しが必要だと感じました。

『教師としてではなく、子供たちにはファンタジーや童話、小説の世界から伝えたい』

Iさんは、その純粋な思いを叶えたいのです。

Iさんは芸術的に表現したい人で、子供たちにも想像力や芸術性を養うことを大切に感じてもらいたい人なのだと感じました。お話をしても穏やかで、どこか童話の世界にいるような印象です。

他には、昔から体が弱かった実母が病院にいて

ずっと母親を放っている気がしていることを話して下さいました。兄弟間の仲も気軽に行き来できる関係ではないために、なかなかお母様に会いにいけないということもあったかもしれません。

チャクラの状態は、足元・第3、5のチャクラが気になりました。

スクレランサスは、子どものときから2極で迷って決断を先延ばしにするタイプだと伺い

まずは10年の迷いを解放するためには最初に浮かびました。

ブラックベリーとスターチューリップは、Iさんの実行力と自己実現や内なる決断に、信頼と自身を培うために必要でした。

大きな人生の転機に、他者からの影響を受けぬように**ウォルナット**、独立に対する恐れに**ミムラス**。**エルム**は育ってきた家庭でも、職場でも女性らしい内助の功的な努力に、周りに報われないと感じるIさんをサポートします。

翌月には学校に辞めることを告げました。春には引っ越しも決め、心機一転の暮らしを選択しました。

決めるのは自分だということに気づき、10年動けなかった人生が動き出しました。Iさんのチャレンジが始まったのです。幸せの道の選択において、決めつけ付けずにいようと新たな変化も起きてきました。

夢を見やすくなったIさんは「自分の真の願いを夢に問う」ことを受け入れます。

『まだ山積みな問題があるけれど、女性らしく生きていこう！幸せな気持ちで日々過ごしている』というメッセージの夢を見ます。これはご自身の決断を実行した喜びからのメッセージと思います。

『Freedom 自由 あなたは自由に自分の道を選ぶことが出来ます』というカードを何日も続けて引き、

Iさんには目に見えないサポートがあり、生きている感覚を持てるようになったとお話しして下さいました。

フラワーエッセンスのサポートにより、こうして一步踏み出すことが出来ました。

問題がまだ山積みということで、前回のコンビネーションに**スターオブベツレヘム**と**スプレディングフロックス**を加えました。

それは、何年か前に恋人との間で、大変な思いをして別れることを経験したというお話と、結婚という選択もあることに気づいたIさんのお話からつけ加えたものです。

この間に、退職と引っ越しで新生活が始まります。
10年ほどあえなかった友人との再会、同僚達との別れ。

想像以上に環境の変化によるストレスを抱え、感情の変化を体験されました。新生活の基盤作り（人間関係・仕事）を考えることや退職による周りの方々からアドバイスや批判によるストレスです。カラダには激しい腰痛や腹痛も出てきます。

しかし、フラダンスの仲間や先生からは「Iさんらしさが出てきましたね」という声があり、自己表現には大きな変化があったようです。

次に用意したのは**ダンディライオン**、**カレンデュラ**、**アイリス**、**マディア**、**スターオブベツレヘム**です。表面化した問題を取り上げました。真面目に感じ過ぎるタイプのIさん。下腹部のチャクラに対応する花でまとめました。**アイリス**は想像する力を作品に向かわせ、退職後、一番のストレスになったことは、友人からの苦手なパソコンを使った営業の勤めに反発していた感情に**マディア**を。クリスチャンであったご自身と、過去にご家族を巻き込んでのストレスを抱えていたことに、**スターオブベツレヘム**を追加しました。

振り返ってみると、今まで見ないようにしてきた内面の激しい感情と向き合ったそうです。
「反抗期の子どもよう」と表現していました。

「ご実家で親類や妹さんたちと、地下の聖堂で賛美歌を歌っている夢」が印象的でした。
深いところの神聖な部分との出会いを感じます。きっと深いインナーチャイルドの癒しに取り組んでいたかのように、反抗していた子どもの部分とその神聖な光に癒されたかのように感じます。

お体には、大学のスクーリング後の激痛の腰痛がでました。お体を調整しているご友人からは「養生中」という指摘。エネルギー層はそれに対しオーラの歪みが整い、しっかりとしてきました。

新生活に切り替え、人間関係と仕事の両面を築くことが課題であり、自分のことに集中することと他者との良好な関係のバランスが難しい課題となりました。

体の大きな変化より、フラワーエッセンスも大きく変えました。

トランペットバイン・**ヴァイオレット**・**インパチェンス**・**クレマチス**・**ゲンチアン**・**ウォーターバイオレット**・**ミムラス**です。

今まで、大学の仲間達とも距離をおいていたIさん。せっかくご自分の好きな世界に歩み始めたので、同じ価値観の仲間たちと、もう少し打ち解けられたら人生も豊かになるだろうと感じました。作家として言葉は文章で描くものと捉えているかもしれませんが、コミュニケーションはそれだけではないことを**トランペットバイン**・**ヴァイオレット**がサポートしてくれるでしょう。**インパチェンス**・**クレマチス**・**ゲンチアン**・**ウォーターバイオレット**・**ミムラス**は、ご自分の人生を見つめ直したときにゆっくりと、自信を取り戻し引っ込まずに人との関わりを勇氣を持って作っていく。新しい世界にご自分が冒険するつもりで挑んでいく

Iさんを応援したいと選びました。

服用の間、過去に溜め込んだ感情の解放が始まり、人との関わりに大きな変化が起きました。

- ◎大学で友人が出来たこと
- ◎大学の先生とも話せたこと
- ◎昔の同僚や、担任を受け持っていた頃の生徒との再会に教師としてやってきた答えを見つけ自信が持てたこと
- ◎具体的には、同僚からの意見が気にならなくなった
- ◎友人へ批判していたことに良くないと思えてきた
- ◎教員だったときから、宗教的な解釈や女性作家の取り扱いに差別があったことに対し憤りを感じていたことを思い出した。
- ◎自由が無かった
- ◎教員という立場で「あきらめ」ていた。いくら頑張っても仕方がない

作家の道を決断したことが正しかったと思いながら、他者の評価をする側から、される側になりストレスを生んだり生活面で不安がありますが、同じ道を歩む世界の人たちとコミュニケーションが深まったことで新しい局面にうつったことに気づかれました。全体的にご自分の世界が広がって感じられたそうです。過去のプロセスを距離を持って眺められ、外面的な変化を経て内面が変容し始めている感覚があるとお話し下さいました。

夢は・大学時代の写真を見て”ゲンチアン!”と言われる。・蝶が襲ってくる（本能的に恐怖を感じた）・繰り返す男性のクレームをつける・高校の生徒と「一緒に頑張ろうね」とエスカレーターを上った など

夢の解読からは、ご自分の自信の無さが、男性性に対し評価に対して恐れを抱いている。今の現状を癒しながら前へと進んでいると感じられました。

過去の未整理の母親や友人との関係や、書くという自己表現。生活の確立。この問題に対応していきました。

ヴァイオレット・クレマチス・ゲンチアン・ミムラスにゴールデンヤロー・レッドチェスナット・ホワイトチェスナットを加えました。ゴールデンヤローは教員だったIさんが何故、教員を辞めたいと思ったかによります。女性として教師として自分の信念を貫いて行動をしてきたIさんはいつしか、頑張っても報われず何も変えることは出来ない、自分を教育に対しての情熱を表現するエネルギーを失ってしまいました。作家としても、教育者としても子供たちや社会へ、表現をサポートしてくれるはずです。母や一番近くにいる友人への心配ごとや、自分が考えても仕方がないことなどを癒し、今のご自身が出来ることに集中する為にレッドチェスナット・ホワイトチェスナット**を選びました。**

この頃より更年期症状が出始め、カラダの転機も訪れました。

Iさんは身体的にスッキリせず、孤独感や虚しさで、一日のリズムを崩しました。いつも考えている生活の不安も神経を休める為に休息を必要としていたのでしょう。お休みを取りながらも「過去の自分を手放し、新しい自分になることの必要」そのために「自分がしっかりしていること」が、人間関係においても必要なのだと考えられたそうです。

人生にとって『生き甲斐』がとても大切であり、作家として「物語を書く」ことを支えるためにも自分がどんな暮らし（仕事・人間関係・楽しみ）を持っているかということを実際に考えていらっしやいました。

フリースクールというボランティアにも参加しました。教員を辞めてから久しぶりに思春期の子供たちの「温もり」にふれ喜びを感じたそうです。

夢の中で「肉体と精神のバランスをとる為には、古い寺の門を通らなければ帰れない。その為の階段は壊れている。寺の人総出で何とか修復しようとしている。皆で雑巾を縫う」というもので、現在Iさんが全てのエネルギーを使って修復にかかっている、もう一度人生を織り直すときにいることが理解できました。

そしてIさんは1冊の本と出会うことになりました。それはフォークナーの『響きと怒り』です。Iさんがハニーサックルの花を知っていますか？という問いに『ノスタルジーにひたっていて、過去に生きている』というハニーサックルのエネルギーのお話をしました。

Iさんは内容を聞いて、植物が人の心に及ぼしている影響について考え興奮し驚かれていたので、ハニーサックルを1本感じてみるように提案しました。

一人旅に出られ、心の整理ができて新しい展望が開けたそうです。

教師の仕事辞め、半年間は新しい状況に適応できなかつたと振り返りました。1人旅に出て「これからの自分」ということについて考えられるようになりました。また、原点に抱えている実母との関係を特に考え、新たな視点が持てるような予感があると話して下さいました。

ようやく深いところの人間関係についてIさんは話し始めました。

実母との関係は不自然で、Iさんが思春期の頃の母は病気がちで自分1人で解決しなければならない問題が多かったとお話して下さいました。母の役割を担いすぎていたり。過去の恋愛関係からは攻撃的なものが生まれたとも感じていらっしゃいました。一番近い存在の人間関係に対してIさんは癒しが必要だったのかもしれません。

夢は行きつ戻りつで、最近の直観が、まだ周りの方に受けいられなかったり、自分の望みがどこにあるのか迷っていたりしますが、2年ぶりにあった友人には「楽しそうだね」と嬉しそうでした。

Iさんはご自身で癒しの旅を歩み、最後にマリポサリリーに辿り着きました。

母性を象徴する花であるということに関連した体験をしたそうです。

- ◎「母との関係＝自分自身の人生」であることに気づいた
- ◎母性について「子どもを産んだ」「産まない」ということではないと思った
- ◎そこだけ解決しても、解決しないと気づき、もっと創造的に生きる必要があると気づいた
- ◎いろんな人と積極的に関わり、自分の力を発揮していくことが母との関係を良くすることと思う
- ◎ユリの花を見かけることが増えた
- ◎思春期の女の子の母親の為の講座や友人のお母様の世話をした体験をした
- ◎都立図書館で音訳のボランティアをすることになった
- ◎小説を書き、周囲の方に温かい評価を得た

Iさんは母子を感じる時を与えられたようです。

マリポサリリーを服用していたときは、体調が悪く力が湧かない日が多かったり、否定的な感情に向き合ったりしていましたが、小説を書きボランティアの仕事をし始めたことで人との繋がりが復活しました。結局振り返ったとき、ご自身に必要な時間だったと気づいたそうです。

フラワーエッセンス療法を終えるサインを受け取ったのは、「物語を書く」という道で、Iさんが植物と小説の関係性にご自身で辿り着き、自分のエッセンスとなる本を引き寄せるようになったことを確認したからです。

Iさんは、ご自分の生活を創造的に過ごすことが、様々な問題を解決することだと気づかれました。夢（ドリームワーク）は、プラクティショナーと一緒に観ていくことで自分と違う解釈にであい、仕事を辞めるか悩んでいるときに、「夢の中に答えを求めてみましょう」ということを取り入れ新しく気づくことがあったと話して下さいました。

今Iさんは、小説を書き始めています。

構想をお話されると、それはポプラ並木から始まっていました。Iさんは何度も読んだという「**ポプラの秋**」湯本香樹実著の本を見せてくれました。その本を読んでいると、**アスペン**のエネルギーがそのまま登場します。ちゃんと必要なものが必要なときに取り出せる状況を創り出せました。

今後は、植物と共鳴している作家達の言葉にふれて、癒され気づいていくように感じられます。

「Iさんの物語」はこれからページが開かれていくのでしょうか。Iさんの自己表現が、物語を通じてスタートしたことを実感しました。その方の気づきが受け取りやすい方法を神は与えてくれるのだと思いました。